

情報 I 個人情報（個人に関する情報）

教科書 pp.16-19

プライバシー権と肖像権

- ・(①))
- ・(②))
 - ・日本国憲法第 13 条の「自由及び幸福追求に対する国民の権利」に基づく権利
 - ・他人に知られたくない情報を知られない権利
 - ・侵害された場合、民法上の不法行為に該当し、損害賠償請求等ができるものの、プライバシー権を定めた法律はない
 - ・民法は私人間のルール
- ・(③))
- ・(④))
- ・有名人の経済的な促進力を他人に使われない権利を (⑤))
- ・プライバシー権と同様に、「自由及び幸福追求に対する国民の権利」に基づく権利として保護される
- ・侵害された場合、民法上の不法行為に該当し、損害賠償請求等ができるものの、肖像権を定めた法律はない
- ・政治家などの公人に関しては、公務中の撮影などにおいては肖像権が制限されることがある

個人情報保護法（個人情報の保護に関する法律）

- ・(⑥))
 1. 問題: (⑦))
 2. 目的: (⑧))
 3. 目標: 個人情報を扱うための決まり(法)を作成
 4. 評価: 複雑で理解されづらいものの、改正しながらある程度目的を達成するようになってきた

・公法の一つであり、刑事罰や行政処分が課される

- ・(⑨))
 - ・生存する個人に関する情報で、氏名、住所、生年月日等の記述により、(⑩))
 - ・個人の写真（個人に関する情報）やマイナンバー（個人識別符号）
- ・(⑪))
 - ・氏名、住所、生年月日、性別
 - ・本人確認に用いられる
- ・(⑫))
 - ・人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴
 - ・不当な差別や偏見、不利益などが生じやすく、特に取り扱いに注意すべき
- ・個人情報扱う事業者の主な義務
 - ・個人情報収集の目的を明らかにし、その目的以外に利用しない
 - ・同意なしで第三者に提供しない

補足

- ・プライバシーポリシー: 個人情報をどの用の目的で使うかの方針を具体的に示したもの
- ・忘れられる権利: 個人の求めに応じて、インターネット上の個人に関する情報をサービス提供者に削除するよう求められる
- ・オプトイン: 使う前に許可を取る方式（オプショでイン（利用）できる）
- ・オプトアウト: 使ってほしくなければ申し出る方式（オプショでアウト（断る）できる）

補足資料

- ・【VTuber 判例シリーズ】VTuber の演者の本名・年齢をネット上で暴露する行為についてプライバシー侵害の成立が認められた事例（東京地判令和 2 年 12 月 22 日）
<https://www.mseki-law.com/archives/1999>

